



ATA



愛知県トライアスロン協会

一般社団法人 愛知県トライアスロン協会

2025年度 定時社員総会

2026年6月27日（土） 10:00～

名駅モリシタ名古屋駅東口7階 第6会議室



◆議長挨拶

◆事務局報告

- ・定足数の確認
- ・議事録署名人の選出

◆審議事項

- 議題 1 : 2025年度事業報告
- 議題 2 : 同 決算報告 ※別紙 1
- 議題 3 : 2026年度事業計画 (案)
- 議題 4 : 同 予算 (案) ※別紙 2

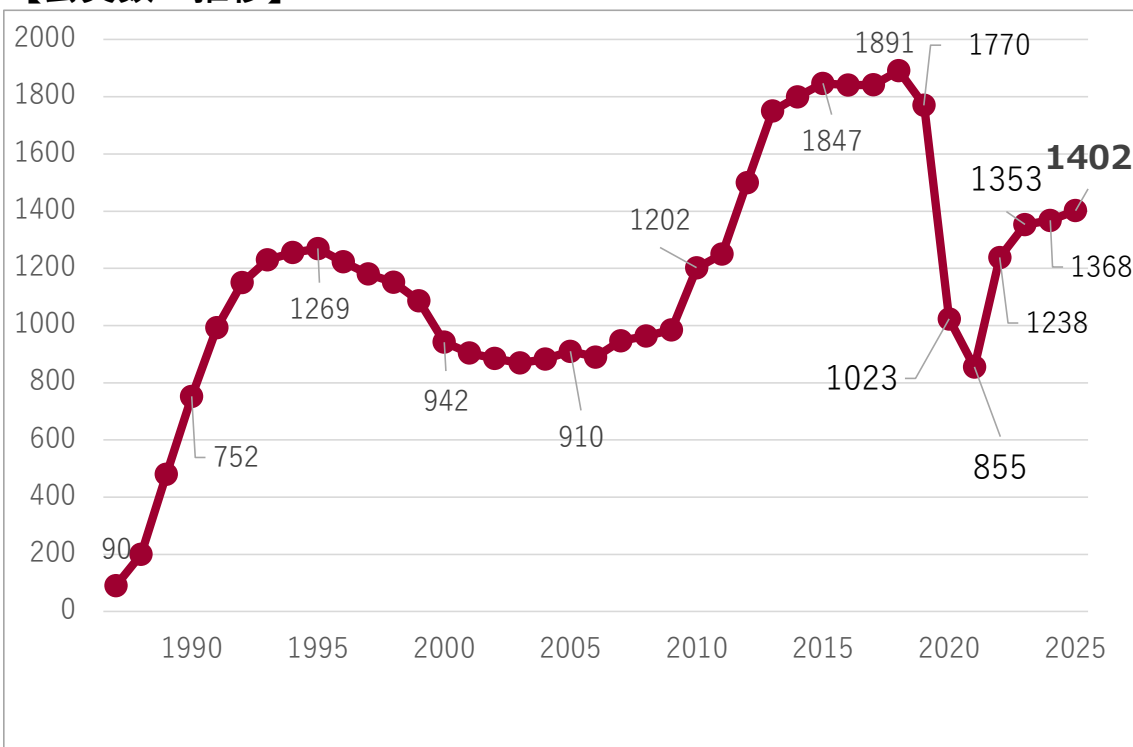
◆総会資料

- ・本資料 「2025年度定時社員総会資料」
- ・別紙 1 「貸借対照表」「正味財産増減計算書」「附属明細書」
- ・別紙 2 「収支予算書 (正味財産増減計算書ベース) 」
- ・別紙 3 「監査報告書」

◆ **会員数 : 2026年3月末現在 1,402名 (対前年+34名)**

・コロナ以降、順調に増加傾向にはあるものの、至近年においては微増に留まっている状況。

【会員数の推移】



【会員内訳の変化】

会員区分	2022年度末	2023年度末	2024年度末	2025年度末
ジュニア	49名	53名	54名	57名
高校生	14名	16名	14名	11名
一般	1,089名	1,214名	1,229名	1,268名
審判	86名	70名	71名	66名
計	1,238名	1,353名	1,368名	1,402名

◆競技事業

・2025年度は9月にアジア大会開催記念大会が開催されたため、年間での参加選手数は2,634名 (対前年+132名) となった。

日時	大会名	2024年度	2025年度	(増減)
5月18日	リバーアクアスロンin長良川	66名	78名	+12名
6月22日	蒲郡オレンジトライアスロン大会	897名	622名	▲275名
6月29日	アクアスロン・スプラッシュ&ダッシュin小野浦	114名	140名	+26名
8月 3日	アクアスロンinラグーナビーチ	191名	178名	▲13名
8月10日	キッズトライアスロンin西尾一色 (※)	142名	104名	▲38名
9月14日	トライアスロン伊良湖大会 (※)	967名	1087名	+120名
9月20・21日	アジアカップ・2026アジア大会開催記念大会 (※)		299名	+299名
10月 12日	Kirakiraアクアスロンinワイキキビーチ	125名	126名	+1名
		2,502名	2,634名	+132名

※印：当協会が運営協力する大会。それ以外は当協会が主催する大会

◆強化事業

【強化指定選手の活躍状況】

区分	人数
パラ強化指定選手	1名
TRIJ 次世代選手	1名
コンチネンタルカップ有資格者	1名
愛知県 強化指定選手	4名

大会名	カテゴリー	選手名
高校生選手権 (東京) (8/31)	1位	杉浦 華夏選手
日本ロングディスタンス選手権 (佐渡)	1位	田中 美沙樹選手

【認定記録会・強化練習会の開催状況】

	月日	参加人数
国体強化合宿	8/16-8/17	6名
	9/13-9/14	2名
TRIJ認定記録会	2/8	48名

【ジュニア選手権エントリー費補助】

- ・ジュニア強化選手 **2名** を対象に、U19選手権エントリー費の一部 (**20,000円**) を補助。

議題 1 : 2025年度事業報告 (普及事業)

【日本選手権・TRIJエイジランキング入賞者への表彰】

- ・全国レベルの大会にて優秀な成績を収めた **21名** を表彰 (副賞総額**111,000円**)

大会区分	人数
ロングディスタンス・ナショナルチャンピオンシップ	1名
TRIJエイジランキング	20名

【ATAポイントランキング (ジュニア・エイジ・アクアスロン)】

- ・ATAポイントランキングおよびアクアスロンチャンピオンシップシリーズで優秀な成績を収めた **118名** (ジュニア**37名**、エイジ**31名**、アクアスロン**50名**) を表彰 (副賞総額**381,500円**)

	カテゴリー	人数
ATAポイントランキング	小学生 (各学年男女1~3位)	26名
	中学生 (男女1~3位)	6名
	高校生 (男女1~3位)	5名
	エイジ (各エイジ男女1~3位)	31名
アクアスロン チャンピオンシップシリーズ	中学生 (男女1~3位)	6名
	高校生 (男女1~3位)	2名
	エイジ (各エイジ男女1~3位)	42名

議題 1 : 2025年度事業報告 (技術・審判)

◆審判資格保有者数

・JTU資格保有者の人数は前年と同じ水準であった。

	JTU資格	WT資格
2024年度	118名	11名
2025年度	109名	13名
増減	▲9名	+2名

◆活動実績

・記録会や大会における審判の活動実績は**487人日**となった。

区分	大会数	延べ活動人数
TRIJ認定記録会	1回	6人日
アクアスロン	4大会	83人日
トライアスロン	10大会	375人日
トライアスロン (キッズ)	1大会	23人日

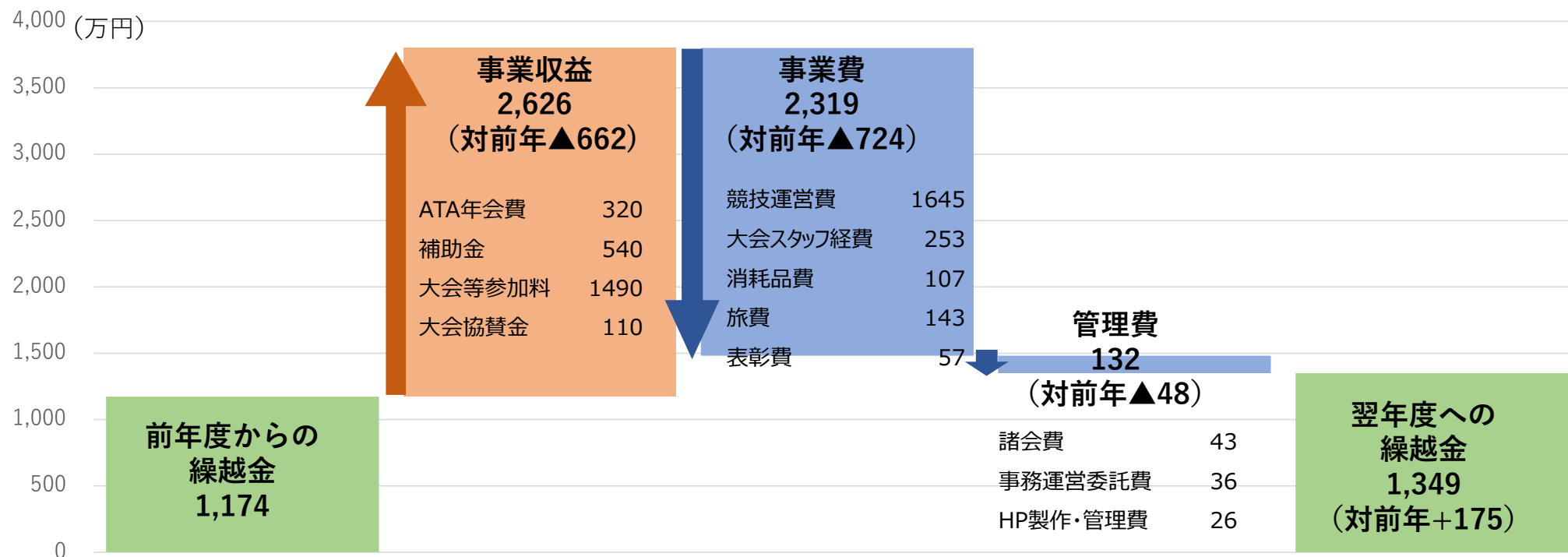
◆審判活動に報いる表彰

- ・ATA「審判員ポイントランキング表彰」に則り、年間での活動実績が顕著であった**1名**を表彰 (副賞総額**10,000円**)
- ・TRIJ技術委員会が新たに創設した「テクニカルオフィシャル年間表彰」において、鈴木正人理事が受賞。

議題 2 : 2025年度事業報告 (決算)

◆ 決算概況

- ・蒲郡オレンジ大会の参加人数減 (▲275名) にともない、事業収益は参加料、補助金等の減により対前年▲647万円の2,626万円、事業費では対前年▲724万円の2,319万円となった。
- ・管理費については、昨年のHP新規製作の反動減で、対前年▲48万円の132万円となった。
- ・**年間収支では+175万円の増収**となり、2026年度への**繰越金は1,349万円**となった。



※詳細は別紙1「貸借対照表」「正味財産増減計算書」「附属明細書」のとおり。

議題 1 : 中長期計画 (2025-2030) の進捗状況

➤ 2025年に策定した「中長期計画 (2025-2030)」では、MISSIONを「より多くの人に、生涯スポーツとして健康的にトライアスロンを楽しんでいただける環境やサービスを提供し続けるとともに、大会やイベントを通じて地域の発展にも貢献し続けていく」と定め、VISIONとACTIVITYに対する取り組み状況は以下のとおり。

VISION	ACTIVITY	評価・課題	
競技人口の維持拡大	新規層の拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・マルチスポーツに気軽に参加できるようアクアスロンシリーズを継続 	○ <ul style="list-style-type: none"> ・一般会員の新規登録は290名 ・アクアスロンシリーズを継続開催し、参加人数も対前年+26名の増(496名→522名)
	既会員の離脱防止	<ul style="list-style-type: none"> ・モチベーションの維持向上につながるポイントランキング表彰制度を継続 ・地元トライアスロンスクールとの連携強化 ・トライアスロンの魅力の積極発信 	▲ <ul style="list-style-type: none"> ・会員数は対前年+34名の1,402名とコロナ以降増加傾向が続いている。 ・表彰対象人数139名(副賞総額492,500円) ・スクールとの連携強化、魅力の積極発信については、具体的なアクションにつなげられなかった。
	会員サービスの充実		
	強化育成施策の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・国スポ出場選手、U15/U19、キッズ/ジュニアの練習会や合宿の開催 	○ <ul style="list-style-type: none"> ・アジア大会日本代表選手に、愛知県ゆかりの女子選手2名が内定。
大会数の維持	<ul style="list-style-type: none"> ・開催地の自治体、関係団体、スポンサー企業等との良好な関係の構築 ・単なる競技イベントではなく、観光や地域活性化、地域貢献を意識した大会運営 	○ <ul style="list-style-type: none"> ・既存大会については、地元との良好な関係を維持しつつ継続開催。 ・蒲郡大会では、地元団体と連携して、会場付近のプロキング(ジョギング×ごみ拾い)を開催。 	
持続可能な組織体制	審判、協会スタッフの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・新規勧誘の積極展開 ・審判講習会の開催や表彰制度の活用 	▲ <ul style="list-style-type: none"> ・審判資格保有者数は前年より▲9名減少し、新規登録者はいなかったことから、勧誘策の強化が必要。
	財務基盤の安定性	<ul style="list-style-type: none"> ・大会開催や組織運営にかかるコストの最適化 ・公的補助や助成金の積極活用 	○ <ul style="list-style-type: none"> ・大会規模の変動に応じて支出も抑制することができたため、年間収支では+175万円の増収。 ・至近年の財務状況も安定。
	適正なガバナンス	<ul style="list-style-type: none"> ・協会のMISSIONや中長期計画の明確化と社外公表 ・財務および運営状況の透明性確保 ・コンプライアンス遵守を意識した組織運営 	○ <ul style="list-style-type: none"> ・財務、組織運営、コンプライアンスのいずれにおいても問題はなく、適正に実施

◆総論

- ・中長期計画に掲げたとおり、より多くの人に生涯スポーツとして健康的にトライアスロンを楽しんでいただける環境やサービスを提供し続けるとともに、大会やイベントを通じて地域の発展にも貢献し続けていくことを基本方針とし、その実現のために、「競技人口の維持拡大」と「持続可能な組織体制の構築」につながる施策を展開する。
- ・今年度は**第20回アジア競技大会**も開催されることから、関係機関とタイアップしながら大会運営に万全を期す。
※日本代表候補選手に、愛知県ゆかりの女子選手2名（林愛望選手、平泉真心選手）が内定。

◆大会スケジュール

日時	大会名	
5月24日	リバーアクアスロンin長良川（★）	
6月21日	蒲郡オレンジトライアスロン大会（★）	
6月28日	アクアスロン・スプラッシュ&ダッシュin小野浦（★）	※印：当協会が運営協力する大会。 それ以外は当協会が主催する大会
8月 2日	アクアスロンinラグーナビーチ（★）	
8月 9日	キッズトライアスロンin西尾一色（※）	★印：ATAアクアスロンチャンピオンシップ シリーズ対象大会
9月 6日	トライアスロン伊良湖大会（※）	
9月20・21日	第20回アジア競技大会（※）	
10月 4日	Kirakiraアクアスロンinワイキキビーチ（★）	

◆強化事業

- ・これまで同様に、国民スポーツ大会にむけて強化対象選手を選抜し、強化練習会を開催。
- ・ジュニア強化選手の選手権エントリー費補助は継続実施
- ・パラアスリートへの支援策を充実

◆普及事業

- ・ATAポイントランキング（エイジ・ジュニア）およびアクアスロンチャンピオンシップシリーズを継続実施。
- ・新規加入の増加や既会員の退会抑制のため、トライアスロン3種目に囚われず、マルチスポーツ（アクアスロン、デュアスロン等）の新規大会や新規イベントの開催にむけて調査検討

◆社会貢献活動

- ・ボランティア団体と連携し、蒲郡大会前日にプロキング（ごみ拾い＋ジョギング）活動を実施。
- ・蒲郡市スポーツ振興課と連携し、地元中学校においてパラアスリートによる講演会を実施。

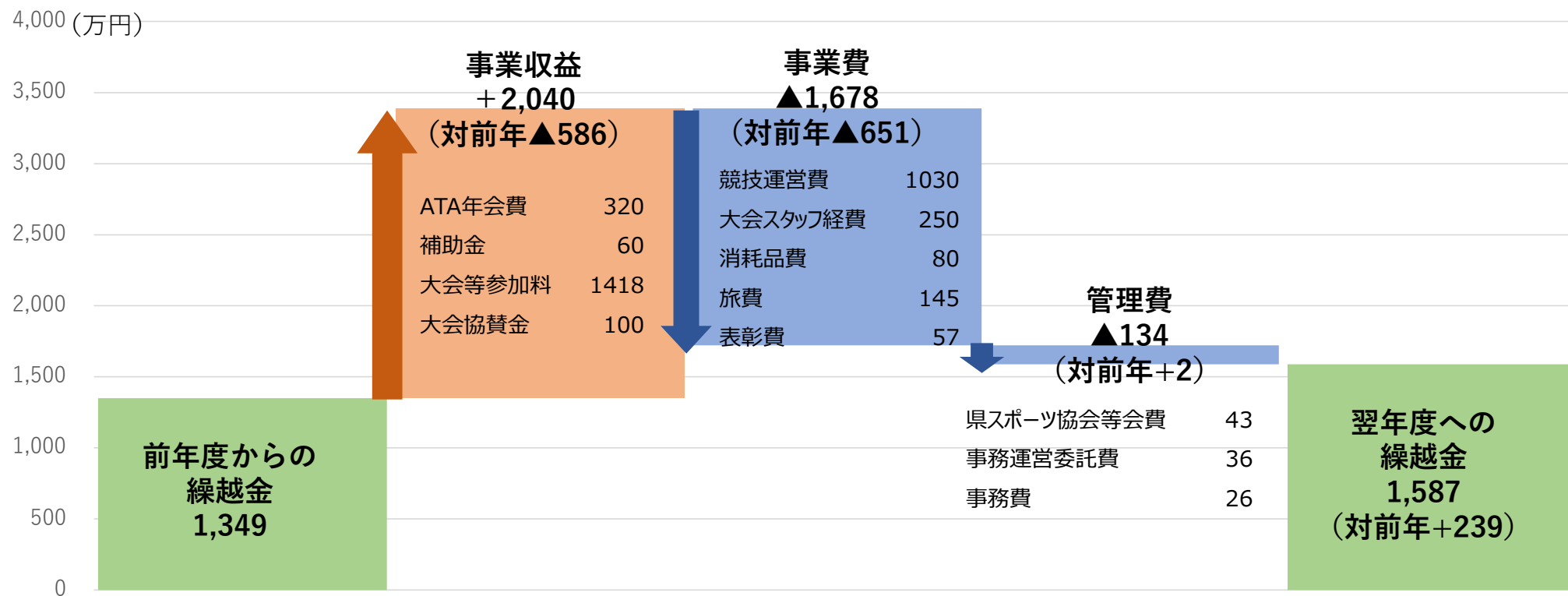
◆審判事業

- ・新規勧誘の活発化
- ・「審判員ポイントランキング制度」を継続実施。

議題 4 : 2026年度収支予算 (案)

◆予算案

- ・事業収益については、蒲郡大会が国際大会併設ではないため、補助金の減 (▲480万円) などにより、対前年▲586万円の減少見込み
- ・事業費については、上記蒲郡大会の影響による競技運営費の減 (▲615万円) 等により、対前年▲651万円の減少見込み
- ・管理費については、昨年度と同水準の見込み
- ・翌年度の繰越金は1,587万円 (期首+239万円) となる見込み。



※詳細は別紙3「収支予算書 (正味財産増減計算書ベース)」のとおり